

吉川地域義務教育学校設置に係る基本計画書への意見・要望一覧

【地域住民・保護者向けワークショップにおける意見・要望（並列羅列版）】

テーマ / 分類	ワークショップでの主な意見・要望（羅列）
生活・交流 (異学年交流)	小学生と中学生が日常的に自然に触れ合い、交流できる温かみのある共有スペースがほしい。
	1～9年生が共に学ぶため、低学年と高学年（後期課程）で生活環境を分け、発達段階に合わせた環境にしてほしい。
	一人で静かに本を読んだり落ち着いたりできる、秘密基地のような居場所がほしい。
	あそび心を刺激する、校舎内の廊下や階段まわりにベンチやちょっとした仕掛けがほしい。
生活・交流 (放課後・学童)	中学生（後期）のお姉さんやお兄さんたちが、小学生（前期）の面倒を自然に見られるような見守りやすい設計にしてほしい。
	放課後に子どもたちが安全に自習をしたり、本を読んだりできる放課後の居場所がほしい。
生活・交流 (屋外環境)	専用の事務室や静養室を備え、送迎やグラウンドへの動線が良い学童保育室を併設してほしい。
	バス通学で運動不足が懸念されるため、アスレチックや芝生、魅力的な屋外遊具をたくさん設置してほしい。
生活・交流 (暑さ・雨対策)	低学年の子どもたちが上級生に衝突される心配がなく、のびのびと安全に外遊びができる専用の広場がほしい。
	雨の日でも濡れずに屋外を移動したり、バスを待ったり、一時的に活動できる軒下や屋根付きテラスがほしい。
安全・防犯 (通学・送迎)	真夏の強い日差しを遮り、熱中症を防ぐための深い庇（ひさし）やルーバー、屋外の木陰がほしい。
	スクールバスの乗り降りが安全でスムーズに行えるよう、十分な広さのバスロータリーを整備してほしい。
	自家用車による児童生徒の送迎時の混雑を考慮し、十分な駐車台数を確保してほしい。
安全・防犯 (防犯・見守り)	車両（バス・送迎車・給食トラック等）と、児童生徒の歩行・自転車動線を完全に分ける「歩車分離」を徹底してほしい。
	不審者の侵入を確実に防ぐため、外周部に見通しが良く安全なフェンスや生垣・囲いを整備してほしい。
地域連携 (地域開放)	不審者を早期発見できるよう、職員室から正門や主要な出入口、グラウンド全体が見渡せる配置にしてほしい。
	休日や放課後に、地域住民が図書室（メディアセンター）を自習や多世代交流の場として利用できるようにしてほしい。
地域連携 (地域連携)	夜間や休日に、体育館（アリーナ）を地域のスポーツクラブや行事、PTAの活動で気軽に利用できるようにしてほしい。
	地域の方々や学校ボランティア、PTAが日常的に活動や会議、打ち合わせができる専用の「地域・保護者連携推進室」がほしい。
防災・避難 (避難所機能)	吉川の歴史や自然を活かした体験活動（黒豆づくり、田植え、山田錦の食育など）ができる体験学習スペースを設けてほしい。
	地域の人々も気軽に学校行事や発表会、多世代交流活動に参加できる明るい多目的交流ホールがほしい。
	災害時の指定緊急避難所となるため、アリーナ（屋内運動場）への空調（冷暖房）設置を必ず実現してほしい。
防災・避難 (インフラ確保)	避難生活が長期化した際に、プライバシーを確保できる個室スペースとして保健室や相談室を有効活用できるようにしてほしい。
	高齢者や小さな子ども、おむつ替え等が必要な人が安心して避難できるよう、多目的トイレや授乳スペースを整備してほしい。
	災害時のライフライン（水・下水道・電気）途絶に備え、3日分の飲料水を常時貯水できる緊急遮断弁付きの受水槽を設置してほしい。
防災・避難 (ペット同伴)	断水や下水道破損時でも衛生的に使えるよう、屋外から直接アクセスできる「マンホールトイレ」を整備してほしい。
	災害時の非常用水やマンホールトイレの洗浄水として活用できる、手押しポンプ式の「防災井戸」を設置してほしい。
環境・その他 (環境・省エネ)	停電時でも携帯電話の充電やアリーナの最低限の照明、コンセントが使えるよう、太陽光発電と蓄電システムを導入してほしい。
	ペット同伴避難に対応できるよう、ペットの一時避難場所や物資荷降ろし場として使える屋外の屋根付きテラスを有効活用してほしい。
環境・その他 (バリアフリー)	吉川の自然環境や省エネについて、子どもたちが自発的に学べるよう、太陽光発電量などをリアルタイムに表示する「エコモニター」がほしい。
	温かみがあり落ち着いた雰囲気の中庭の校舎にするため、兵庫県産木材を多用した「内装の木質化・木造化」を推進してほしい。
環境・その他 (バリアフリー)	車椅子利用者や高齢者も使いやすいよう、各フロアへのエレベーター設置、段差のないスロープ、手摺の設置を徹底してほしい。